

既存農業水利施設の耐震化に向けて

平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震では、多くの農業水利施設が被災しました。我が国は地震大国であり、今後、発生されると予想されている東海・東南海・南海地震の発生確率は、今後50年で90%であるなど、大規模地震に対する安全性の確保は喫緊の課題です。

既存施設の耐震化にあたっては、特に事業地区全体にわたり、各施設の耐震性の判定を行い、耐震性が不足する箇所を明らかにして対策を行っていく必要があります。

弊社では、豊富な経験を基に、地区全体の効率的な耐震判定を実施し、効果的かつ効率的な耐震整備の事業化についてお手伝いします。

2011年 東北地方太平洋沖地震

----- 藤沼貯水池のダム崩壊



----- 福島県南部沿岸の地盤災害



----- 藤沼貯水池のダム崩壊

1995年 兵庫県南部地震



2007年 新潟県中越沖地震



2004年 新潟県中越地震



2008年 岩手・宮城内陸地震



出典: 吉嶺充俊, 地震被害写真集, <http://geot.civil.ues.tmu.ac.jp/archives/eq/index-j.html>, 首都大学東京 土質研究室, 2001-2011.

